

第3章

将来都市像



暮らしやすく、希望あふれるまち 上越

人口減少や人々の価値観の多様化などが進む成熟社会の中で、上越市ならではの快適で幸せな暮らしを実現し、生きる力を備えたまちを形作っていくためには、市民の暮らしとまちの成長を支える確かな基盤を確立していくことが必要です。

そのためには、本市ならではの、まちの多彩な魅力や人々の共助^{*}の精神を身近に感じる中で、誰もが自らの生き方、暮らし方、働き方に安心感や満足感を実感できるよう、市民の暮らしの質を着実に高めていくことが必要となってきます。

あわせて、若者や女性、高齢者、外国人といった多様な市民一人一人が、地域に愛着や誇りを感じながら、夢や希望の実現に向けて、学び、挑戦し、活躍できる環境を、皆で手を携え、共に一つ一つ創り上げていくことが大切となります。

市民・事業者・団体・地域など、これからのまちづくりに関わる全ての方々が、まちの未来に思いを抱き、同じ目標に向かって行動していくため、第7次総合計画の最終年度となる8年後の令和12（2030）年度に上越市が目指す将来都市像を上記のとおり掲げます。



「暮らしやすいまち」に向けて…

各種インフラ、産業、教育、医療、福祉、環境、文化の全てにおいて、社会環境の変化に、柔軟かつしなやかに対応し、誰一人取り残されることなく、自分らしい暮らしができるよう、生活の質の向上を図り、安心感や満足度をより高めていきます。

「希望あふれるまち」に向けて…

地域の魅力や資源、産業や人材など、まちの力を市民や地域が一丸となって高め、いかしていく中で、地域に対する愛着や誇りが育まれ、市民一人一人が夢や希望を持って暮らし、そして、次代を担う子どもや若者が帰ってきたくなくなるようなまちづくりを進めていきます。